

## 市議会6月定例会



26万市民が震災からの復興を願った「湘南ひらつか七夕まつり」

# 防災対策予算の補正など 11議案を可決

平塚市議会は、6月7日から30日まで24日間の会期で6月定例会を開催しました。

今定例会では、防災対策や公共施設の耐震化促進をはじめとする平成23年度一般会計補正予算や、新たに「平塚市暴力団排除条例」を制定する議案、副市長の選任など計18案件が市長から提出されました。

また、「神奈川県最低賃金改定等」についての意見書を県知事に提出する議案が議会運営委員会から提出され、審議の結果、報告を除く11議案を原案どおり可決しました。

※議案と審議結果の一覧を8面に掲載しています。

### 一般会計補正予算

#### 防災関連で7000万円増額

東日本大震災の発生を受け、今定例会では「防災マップ」の制作をはじめとする防災関連の事業に約7000万円の補正予算が計上されました。また、福島第一原子力発電所の事故を受けて注目される「再生可能エネルギー」である太陽光を利用した発電システムの設置に対する助成費用も計上されました。

そのほか、平塚駅前商店街のアーケード改修費用など合計3億5474万6000円が計上され、平成23年度一般会計予算額は807億9475万円となりました。

#### 防災・耐震化促進関連の主な補正予算

● 防災マップの制作、海抜表示板の設置、津波による浸水シミュレーション映像

### 11議案を可決

援補助員の増員

● 太陽光発電システム設置費用の助成  
160万円  
870万円



住宅の屋根に設置した太陽光発電システム

#### 病院事業会計

● 駐車場用地取得に1億円  
● 病院事業会計では、平塚市民病院の来院者駐車場として借りている土地を購入するための費用として1億円が計上されました。

#### 副市長の選任に同意

● 鈴木喜明氏と木川氏

今定例会では、市長から鈴木喜明氏（元平塚市企画部長）と木川康雄氏（元神奈川県安全防災局長）を新たな副市長とする議案が提出されました。議会では適任者として同意し、両氏は6月8日付けで本市副市長に就任しました。

の作成、避難所配備用発電機の購入などの地震等防災対策事業  
1672万円

● 福祉会館、勤労会館、東部・北部学校給食共同調理場、八幡・南原・須賀公民館の耐震診断費用  
2658万円

#### そのほかの補正予算

● 防炎行政用無線（平塚広報）による放送の内容を確認できるテレフォンガイドの導入費用  
257万円

● 津波発生時の避難場所となる小・中学校校舎屋上へ事業（小・中学校の学習支

### 「暴力団排除条例」を制定

#### 7月1日施行

平穏な市民生活の実現に向け、地域社会で暴力団排除を進めていくためには、私たち市民の姿勢を明確に示す必要があります。今定例会では市の責務や市民・事業者の役割などを定めた「平塚市暴力団排除条例」が市長から提案され、議会ではこの議案を全会一致で可決しました。

- 暴力団排除条例で定める主な事項
- 暴力団の排除に向けた市民の役割
- 市職員などへの不当要求に対する措置
- 契約事務、給付金の交付、公の施設の管理などにおける暴力団排除
- 市民や事業者に対する支援